

サツマイモ基腐（もとぐされ）病に注意

サツマイモに大きな被害を与える基腐病が、県外の産地で発生しています。感染した種いもや苗で広がる可能性がありますので、本病のまん延防止に御協力をお願いします。

<病気の特徴>

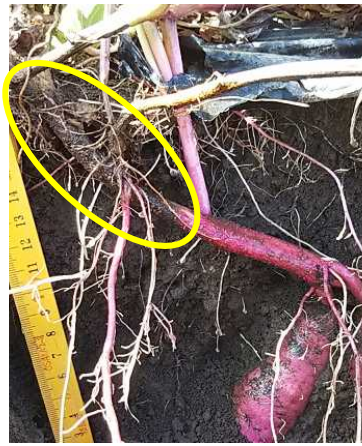
- ・感染した株は茎の地際部が黒～暗褐色に、茎葉は黄色や紫色に変色してしおれ、症状が進むと枯死します。
- ・いもでは主に、なり首側から腐敗します。



地上部の変色



地際部の黒変



株元の茎の黒変



感染したいもの腐敗

本病のまん延防止のため、以下の取組に御協力をお願いします。

- ・由来のわかる、健全な種いもを用いましょう。
- ・種いもや苗はよく選別し、腐敗や病斑があれば使用を控えましょう。
- ・苗床・ほ場で疑わしい株を発見した際には、直ちに引き抜き、袋に入れる等の処置をとった上で廃棄してください。

本資料及び写真は、農研機構生研支援センターイノベーション創出強化研究推進事業(010200)令和元年度版マニュアル「サツマイモ基腐病の発生生態と防除対策」を基に作成しています

【連絡先】

千葉県海匠農業事務所 改良普及課 電話 0479-62-0334
企画振興課 電話 0479-62-0156